

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/27 （7/20との比較）	7/27 （7/20との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.30% （+0.12）	85.09円 （+0.40%）	+2.3% 2018年1Q	1.50%	特段重要な経済指標等の発表はなし。米欧の貿易摩擦が回避されるとの報道や、NAFTA（北米自由貿易協定）が再び合意に向けて動いている等の観測が高まり、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	GDP（国内総生産）や製造業PMIなどが発表予定。発表されるGDPは、今後の金融政策決定会合において、政策金利の行方に影響を与える可能性があることから注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	9.69% （▲0.11）	29.92円 （+1.21%）	+1.2% 2018年1Q	6.50%	発表された経常収支は市場予想を上回る結果。最もマーケットフレンドリーとされているアルキミン候補が、中道右派連合からの支持を受けたことに対して市場が好感し、ブラジルレアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	全国失業率の発表や、中銀による金融政策決定会合が開催予定。10月に予定されている大統領選挙に向けた、大統領候補者の財政政策方針には注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での動きを予想。
	Ba2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.73% （+0.06）	5.96円 （+1.83%）	+1.3% 2018年1Q	7.75%	発表された小売売上高は市場予想を上回る結果。メキシコのロペスオブラドール大統領が、NAFTA再交渉で3カ国による最終合意を目指すよう指示したとの報道などから、メキシコペソは上昇。国債利回りは上昇。	GDPや製造業PMIなどが発表予定。NAFTA再交渉に関しては、市場はある程度悪いシナリオを織り込んでいると想定。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/27 （7/20との比較）	7/27 （7/20との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.64% （+0.03）	82.18円 （▲0.55%）	+3.1% 2018年1Q	1.50%	発表されたCPI（消費者物価指数）は、市場予想をやや下回る結果となったことや、引き続き米中貿易摩擦が重しとなったことなどから、豪ドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	貿易収支や小売売上高などが発表予定。オーストラリア固有の材料で左右されることは少なく、米中貿易摩擦による中国経済減速懸念などに引き続き注意が必要。債券・為替市場はともに上値の重い展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.74% （▲0.05）	75.36円 （▲1.22%）	+2.7% 2018年1Q	1.75%	発表された貿易収支や、消費者信頼感指数などは、共に弱めの結果。貿易収支は燃料の輸入が増加したことなどが要因となり、黒字予想に対して赤字の結果。ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	企業の景況感指数、雇用統計など、重要な経済指標が発表予定。安定した雇用環境と、賃金の緩やかな上昇が示される見込み。引き続き海外市場の影響を受けやすい環境下、ニュージーランドドルは一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.85% （+0.11）	13.56円 （▲0.53%）	+0.3% 2018年1Q	0.50%	発表された鉱工業信頼感指数は強い結果。原油価格が底堅く推移したことなどがノルウェークローネの下支え要因となるものの、米ドル円での円高の影響が大きく、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは上昇。	小売売上高、失業率など重要指標が発表予定。極端に弱い内容とならない限り9月に見込まれている利上げへの影響はなし。引き続き堅調なファンダメンタルズがノルウェークローネを支える見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/27 （7/20との比較）	7/27 （7/20との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	8.05% （▲0.11）	8.43円 （+1.43%）	+0.8% 2018年1Q	6.50%	発表されたPPIは市場予想を上回る結果。中国が南アフリカに147億米ドルの投資計画について発表したことなどに対して市場が好感し、ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	製造業PMIなどが発表予定。貿易戦争などに対する警戒感が残るものの、目立った注目材料がない中ではリスクオン地合いが強まれば、債券・為替市場はともに上値を試す可能性も。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.66% （▲0.14）	0.77円 （+0.57%）	+5.1% 2018年1Q	5.25%	特段重要な経済指標等の発表はなし。ルピアは下落した場面があったものの、中銀が為替介入を行なったことなどを背景に、対円で上昇。先々週の大幅な上昇からの反動で、国債利回りは低下。	製造業PMIやインフレ統計などが発表予定。インフレ上昇率が中銀の目標範囲内で推移することが見込まれるも、海外投資家の債券売買フローが流出方向に偏りやすい中、国債利回りは上昇しやすい地合いを予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	7.92% （▲0.02）	1.62円 （▲0.11%）	+7.7% 2018年1Q	6.25%	特段重要な経済指標等の発表はなし。インド政府はGST（物品サービス税）における新たな税率を発表。原油が上昇したことなどから、インドルピーは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	中銀の金融政策決定会合などが開催予定。中銀が実施する金融政策決定会合で、市場は政策金利の引き上げを予想していることから、結果には注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

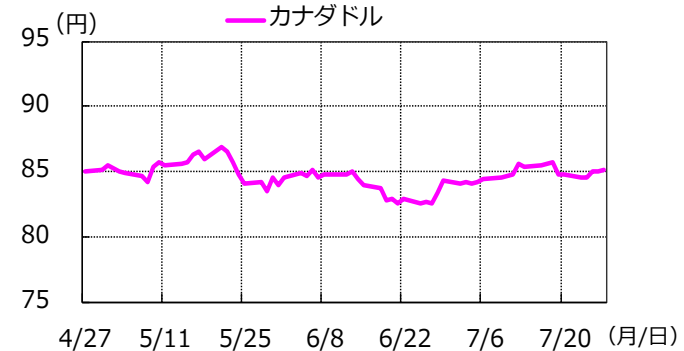
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

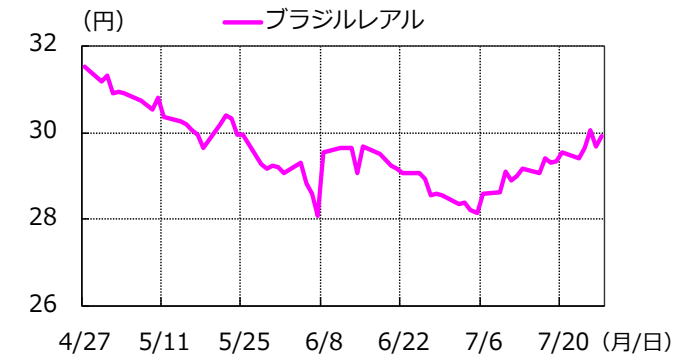
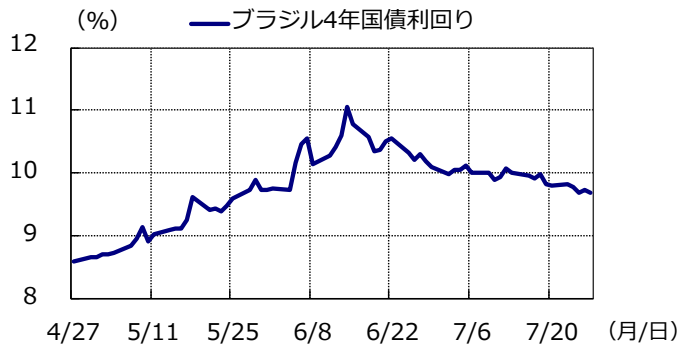
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/4/27～2018/7/27

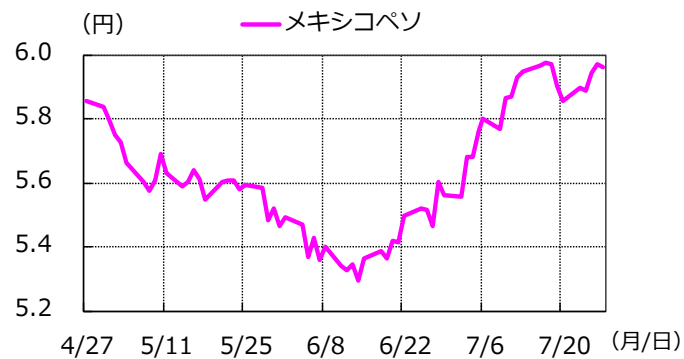
カナダ



ブラジル



メキシコ

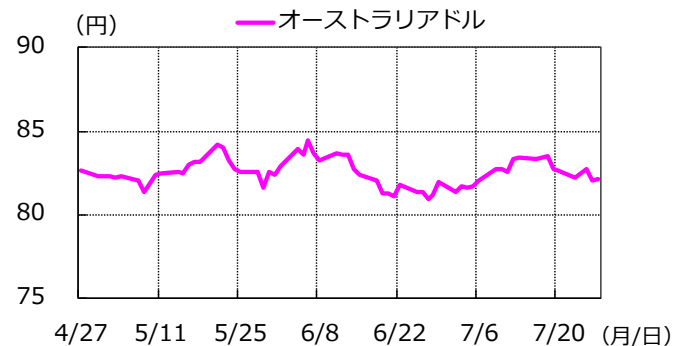
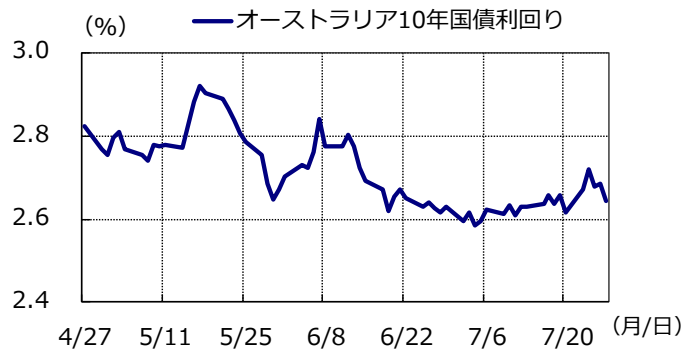


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

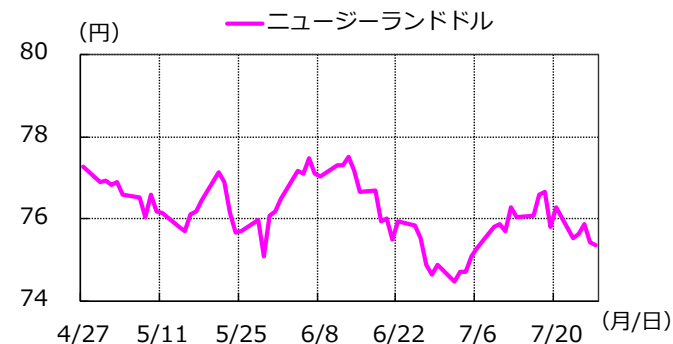
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/4/27～2018/7/27

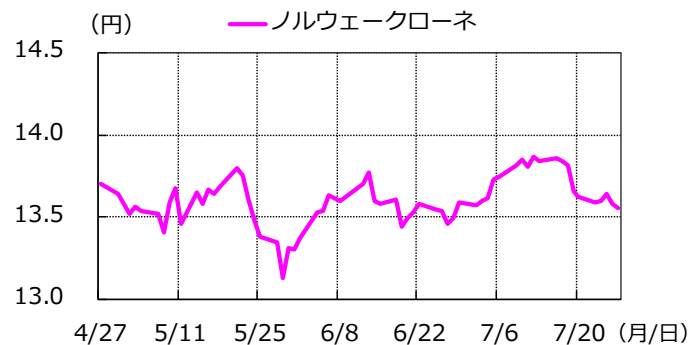
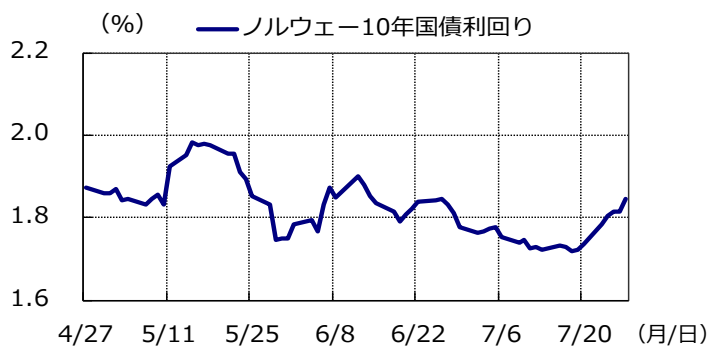
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

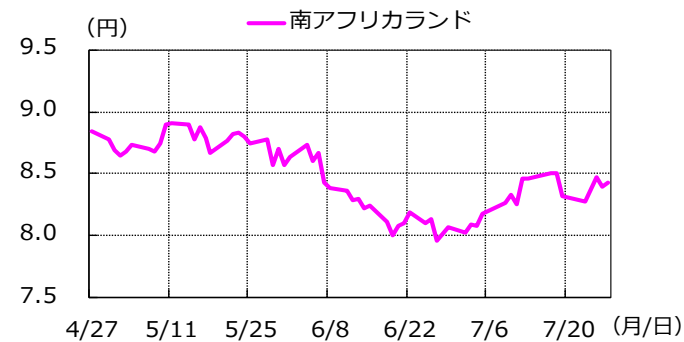


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

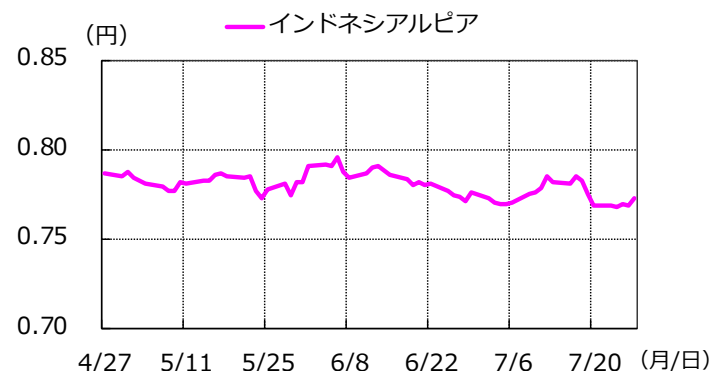
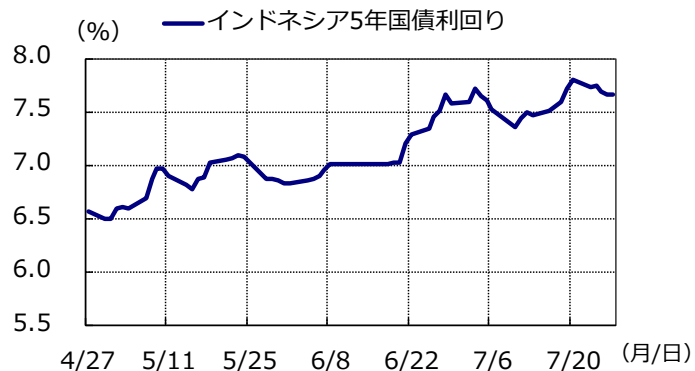
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/4/27～2018/7/27

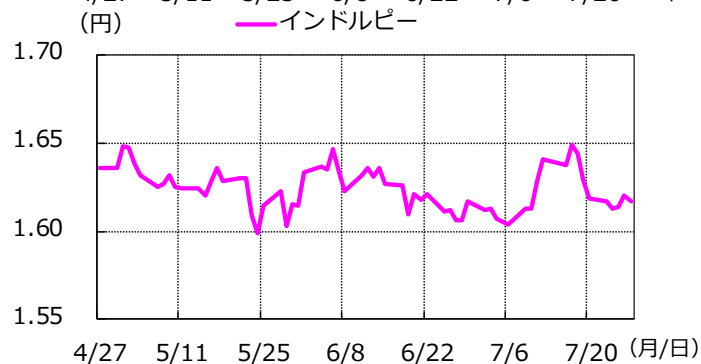
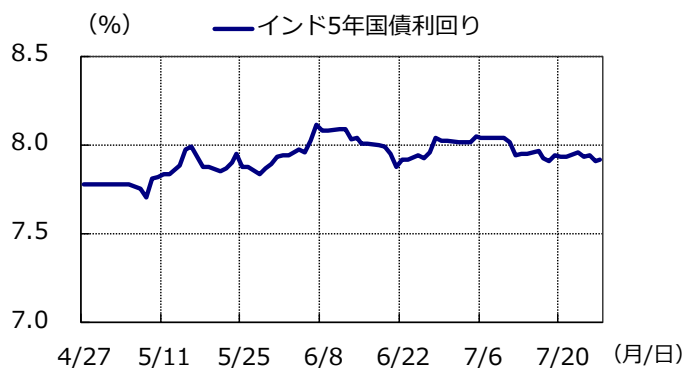
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。